

事務事業名	雲南ブランド化プロジェクト・「幸運なんです。雲南です。」 体感フェア運営事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課				
総合計画体系	政策名	(VI)推進計画・地域経営によるまちづくりの推進	所属G	雲南ブランド推進G	課長名	熱田勇二			
	施策名	(39)計画的なまちづくり	担当者名	鳥谷健二	電話番号	0854-40-1011 (内線) 3512			
	目的	対 象 施策 意図 計画的に目標を達成する。	予算科目	会計	款	大事業	大事業名	企画総務管理事業	
	基本事業名	(117)横断的プロジェクトの進行管理		0	1	1	0	1	中事業名
目的	対 象 各部局にまたがる事業 意図 計画的に事業を推進する。	0	5	3	5	0	8	中事業名	雲南ブランド化プロジェクト

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (19年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・「食の幸」を中心とした雲南の様々な幸を市内外へPRするための取組み。コミュニティ団体等が木次商店街の空き店舗などに「雲南食堂」を出店し、市内のこだわりの食を来場者に提供する。また、中高生がボランティアとして数多く活躍し、キャリア教育的効果も高い。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動)	26年度計画(26年度に計画する主な活動)			
		・委託業務契約等 ・運営(関係機関調整、進捗管理、会計) ・広報	・委託業務契約等 ・運営(関係機関調整、進捗管理、会計) ・広報			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア 体感フェアの実施	回数	0	1	1	1
	イ 出店団体数	団体	0	24	27	27
	ウ 中高生ボランティア	人	28	90	100	100
	エ 大学生(H24より数値把握)	人		24	45	50

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	市民	ア 人口(推計人口)	人	41,159	40,548	40,055	39,949
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
①雲南の幸に気づいてもらう。 ②雲南市への憧れ・誇りを抱いてもらう。	ア 人口(推計人口)	人	41,159	40,548	40,055	39,949	
	イ 観光入込客数	万人	95.0	96.6	143.8	143.8	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
・需用費 333千円(消耗品、燃料、チラシ印刷) ・委託費(体感フェア実行委員会) 224千円 ・委託費(若チャレ) 525千円 合計 1,082千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円	900	900	1,082
		一般財源	千円			880
	事業費計(A)	千円	900	900	1,082	880
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2
		延べ業務時間	時間	1,285	1,200	1,200
		人件費計(B)	千円	5,065	4,702	4,672
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,965	5,602	5,754	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
多くの方がボランティアとして参加されるようになり、地域にとっても重要なイベントとして認識されるようになった。また、参加団体も増加している。特に中高生の参加が拡大しており、ふるさと教育のひとつとなっている。	初年度には、のぼり旗やロングテーブルなど大きな初期投資が必要であったが、その後は最低限の支出となるよう努めている。また、ボランティアが毎年増加しており、その支援が大きな力となっている。	議会から継続を求められた他、地元、出店者からも継続と規模拡大を希望する声も多い。中高生ボランティアが多く参加していることの評価も高く、参加した中高生からも事業を評価する声大きい。

事務事業名	雲南ブランド化プロジェクト・「幸運なんです。雲南です。」体感フェア運営事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
-------	---------------------------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
C 効率性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 本事業を通じて雲南の幸（地域資源）を市内外にPRするとともに、その幸を活かす活動を増やしたいと考えている。そのため、情報発信や企画を再検討するとともに、新たな活動団体との連携を模索したい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 雲南ブランドの情報発信、桜まつりになくはならない存在となっており、休廃止すれば大きな影響がある。また、小中高大の結節点となる事業は、他にはない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段（類似事業）はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名) 雲南市さくら祭り事業 理由 交通警察の対応やチラシの作成など少しずつ連携体制がとれている。今後も効率的な運営体制が図れるよう検討していく余地がある。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 出店団体からの協賛金、収益事業（イベント）等の実施により、事業費を縮減する方向で検討を進めている。
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 地元の協力により準備等に係る労力軽減を図ることができつつあり、さらなる削減に向け地元との検討を進めたい。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 雲南市で最も集客力のある桜まつりでの実施は効果が高く、費用対効果を含め適正であると考えられる。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括（根拠と理由）
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	中高生ボランティアが定着し、県内在住の大学生の参画について手ごたえも感じている。地域との協働を更に推進する必要がある。今年度は、若者チャレンジプロジェクトと連携し、高校生、大学生、若手社会人がつながり、祭を盛り上げる企画を実施し、若者が世代を超えてまちづくりに参画する場にもなった。
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	●																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>○地域との連携を進める。 ※役割の整理、実行委員会の開催方法の検討、地元出店を増やして地域との関与を増やす。 ○雲南ブランドを体現する出店者を増やす。特に雲南食堂の充実を図る。 ○中高校生、小学生たちの自立的参加を増やし、早稲田大学と県内大学との連携を強化する。 ○体感フェアの準備状況も含めHPなどに掲載するなど戦略的な情報発信を行う。 ○多様な参加者を巻き込み、まちの魅力向上につなげる。 ※アート企画を運営する組織、音楽、演劇集団との連携を図る。</p>																								